

図画工作科学学習指導案

日 時	平成 20 年 9 月 17 日 第 3 校時
学年組 人 数	第 6 学年 1 組 34 名
場 所	体 育 館

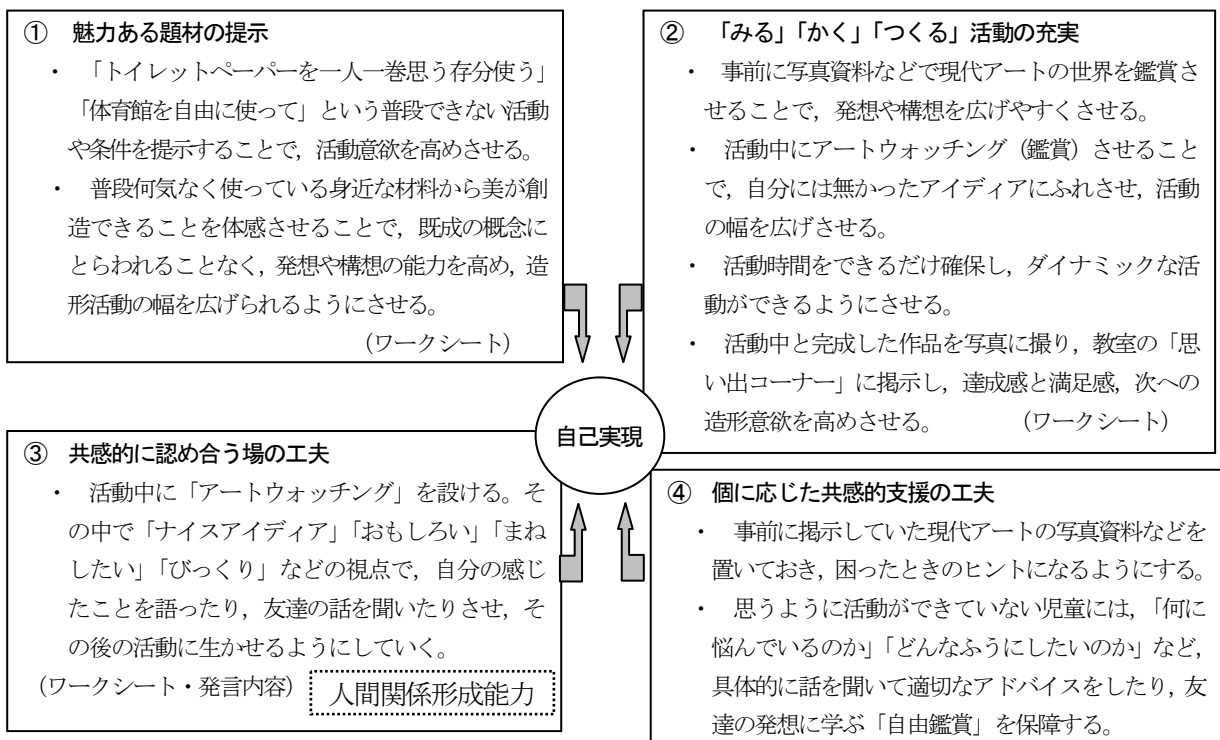
領 域	A 表現（1）造形遊び、B 鑑賞
題材名	<u>集まれ!! アーティストたち</u> <u>体育館を「白い芸術の世界」に変えよう!</u>
指導者	東広島市立高屋東小学校 古本 節郎

1 題材について

- この題材は、広い空間で一人が一巻のトイレットペーパーを使い、思いついたままの活動によって、体育館を白いアートの世界に変えるというねらいで展開する「造形遊び」である。
- トイレットペーパーは、子どもたちにとって身近な材料であり、毎日目にしたり手にしたりするものである。普段は狭いトイレという空間で、できるだけ無駄のないように気を使いながら使っているものを、体育館という広い空間で「全部使って体育館をアートの世界に変えよう」と投げかける。初めは戸惑うことも予想されるが、やがて全身を使ったダイナミックな活動が展開され、体育館という場所を存分に活用して、思い思いの芸術的な活動やアートが誕生すると考える。自分たちの生活に、普段何気なく存在しているトイレットペーパーが材料となり、意外なアートを生み出すきっかけとなるこの活動は、新学習指導要領に新設された〔共通事項〕「形や色などの造形的な特徴を基に、自分のイメージをもつこと。」の指導も可能である。
- また、体育館という広い空間や扱いやすい材料から様々な活動が予想され、自由な発想を促すことから、本校のテーマ『自分らしさを発揮し、共感し合い、自己実現をめざす楽しい学習』も十分に期待できる。
- 本学級の児童に 7 月に行ったアンケートでは、「図画工作科が嫌い・大嫌い」と回答した子どもが 4 月より若干減少したものの、依然として 27% 存在していることが分かった。その理由として「苦手」「下手」「上手く作品にならない」「思うようにできない」「アイデアが思いつかない」などが挙げられた。しかし、「造形遊び」に限定するとその割合が 12% に減少する。6 月にも陶芸粘土を使った活動を経験しているが、前学年までに材料や場所を基にして「造形遊び」を行い、その楽しさを十分に味わってきたと考える。今回も、普段見過ごしている場所のよさや材料の意外性を再確認したり、様々な物を組み合わせたりすることにより、新しい美が生まれることを体験させたい。

2 研究テーマとかかわった指導の手立て

() は主な評価方法 はキャリア教育の領域との関連



3 題材の目標

ア 造形への関心・意欲・態度	材料や場所などに進んでかかわり合い、その特徴を生かして、形や色にこだわった自分なりのアートな世界をつくりだすことを楽しむことができる。
イ 発想や構想の能力	材料や場所などの形や色、偶然の表現効果からイメージをふくらませ、自分なりの発想をし、想像力を働かせることができる。
ウ 創造的な技能	材料や場所などの形や色、偶然の表現効果を生かして自分なりの「白い芸術の世界」を表現することができる。
エ 鑑賞の能力	お互いの表現のよさや面白さ、意外性や効果的な表現方法などを見付けたり、味わったりすることができる。

4 題材の評価規準

ア 造形への関心・意欲・態度	イ 発想や構想の能力	ウ 創造的な技能	エ 鑑賞の能力
・材料や場所などに進んでかかわり合い、その特徴を生かして、形や色にこだわった自分なりのアートな世界を体育館につくりだすことを楽しもうとしている。	・材料や場所などの形や色、偶然の表現効果からイメージをふくらませ、自分なりの発想をし、想像力を働かせている。	・材料や場所など形や色、偶然の表現効果を生かして自分なりの「白い芸術の世界」を表現している。	・お互いの表現のよさや面白さ、意外性や効果的な表現方法などを見付けたり、味わったりしている。

5 指導と評価の計画（全2時間）

次	学 習 活 動	評 価					
		関	発	創	鑑	評 価 規 準	評 価 方 法
1	○材料や場所などの形や色、雰囲気を生かしたり、活動による偶然の表現効果から発想を広げたりして自分なりの「白い芸術の世界」を表す。 (2) (本時1/2)	○	◎	◎	○	・トイレットペーパーや体育館、体育館にあるものの形や色、偶然の表現効果からイメージをふくらませ、自分なりの発想をし、想像力を働かせている。 ・トイレットペーパーや体育館、体育館にあるものの形や色、偶然の表現効果を生かして自分なりの「白い芸術の世界」を表現している。 ・トイレットペーパーや体育館、体育館にあるものなどに進んでかかわり合い、その特徴を生かして、形や色にこだわった自分なりのアートな世界を体育館につくりだすことを楽しもうとしている。 ・表現途中や表現後にお互いの表現のよさや面白さ、意外性や効果的な表現方法などを見付けたり、味わったりしている。	・行動観察 ・ワークシート ・作品 ・発言

6 本時の目標

(発) トイレットペーパーや体育館、体育館にあるものの形や色、偶然の表現効果からイメージをふくらませ、自分なりの発想をし、想像力を働かせることができる。

(創) トイレットペーパーや体育館、体育館にあるものの形や色、偶然の表現効果を生かして自分なりの「白い芸術の世界」を表現することができる。

7 準備物

- <指導者> ・トイレットペーパー ・接着用テープ ・はさみ ・デジタルカメラ ・移動黒板
 ・掲示資料, 参考資料 ・ワークシート
 <児 童> ・体育館シューズ ・タオル ・ボード (下敷き)

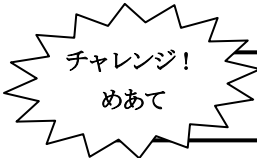
8 本時の展開

◆指導すべき点 (しっかり)

★思考力 (じっくり)

■発信力 (はっきり)

キャリア発達にかかわる諸能力

学習活動	指導上の留意点	評価規準 (評価方法)
1 本時の学習内容の把握 ○ 題材や本時のめあてを確認する。	題材 集まれアーティストたち!! 体育館を「白の芸術の世界」に変えよう! ・使う材料, トイレットペーパーとの出会いを演出することで, 活動意欲を高める。	
 チャレンジ! めあて トイレットペーパーと体育館にあるものを使って, 「白の芸術の世界」をつくりだそう 色や形のおもしろさにこだわって		
2 表現の工夫 ○ 材料や場所などの特徴を生かして, 色や形にこだわった表現をする。	・すぐに活動に入るのではなく, 初めに体育館を見させ, 材料からできることからイメージをもたせる。 ・トイレットペーパーは, そのままの形で使うのではなく, のばして使うことを条件付ける。 ★形や色にこだわって, 芸術性のある活動, 表現, 工夫できることは何か考えさせる。 ・トイレットペーパーを投げない, 蹴らない, 不安定なものの上には上がらないなど, 安全面の注意をする。 ◆準備してある材料と用具を確認し, 表現方法に適した材料と用具を選び, 活動ができるようにする。 材料: トイレットペーパー 透明テープ 白いテープ 用具: はさみ 選択能力	イ「発想や構想の能力」 ・材料や場所などの形や色, 偶然の表現効果からイメージをふくらませ, 自分なりの発想をし, 想像力を働かせている。 (行動観察) ウ「創造的な技能」 ・材料や場所など形や色, 偶然の表現効果を生かして自分なりの「白の芸術の世界」を表現している。 (行動観察・作品)
3 友達との交流 ○ 「アートウォッチング」の時間をとり, 友達の表現を見て回り, それぞれのよさを交流する。	・ワークシートを持って回り, 「ナイスアイデア」「おもしろい」「まねしたい」「びっくり」などの視点で鑑賞させ, 自分の感じたことをメモ書きさせる。 ■「形や色にこだわって」という今日のめあてにそって, お互いの表現のよさや面白さ, 意外性や効果的な表現方法などを語らせる。 自他理解能力	
4 本時のまとめ ○ 学習を振り返る。 ○ 後片付けをする。	・本時のめあてにそって振り返りをさせる。 ・用具やごみ・材料などを片付け, 表現した「白の芸術の世界」が目立つようにする。 ・材料は紙粘土にして再利用することを知らせる。	【共通事項】 ・形や色などの造形的な特徴を基に, 自分のイメージをもつこと。